



ITTOの活動と我が国の貢献

国際熱帯木材機関（ITTO：International

Tropical Timber Organization）は、国内に

本部を置く数少ない国際機関の一つで、熱帯

林の経営と熱帯木材の貿易を対象としていま

す。本稿では、ITTOの概要をご紹介します。

1. ITTOとは

ITTOは、1986年に「国際熱帯木材協定」に基づいて設立され、横浜市に本部を置いています。ITTOの目的は、熱帯林の持続可能な経営の促進と

持続的かつ合法的

に生産された熱帯

木材の貿易の発展

で、加盟国間の協

議や国際協力を推

進しています。

現在、生産国36

か国と消費国37か

国の計73か国（及びEU）が加盟しています。

2. ITTOの活動

① 政策活動

ITTOは、熱帯林の経営に関するガイドラインや基準・指標を策定しています。1992年に、世界初の持続可能な森林経営の基準・指標である「持続可能な熱帯林経営の評価に関する基準」を策定してから、森林火災対策、生物多様性保全、ジェンダー平等などに関するガイドラインを策定してきました。

昨年10月には、「熱帯地域における森林景観再生のためのガイドライン」を公表しました。

「森林景観再生」とは、森林のみならず、農地や

牧草地等を含む地域全体を対象として、住民の

参加により、樹木等を利用しながら、人と自然

が調和した生態系を築こうとする取組です。

また、ITTOは、熱帯林産物の生産・貿易に

関するデータの収集・分析を行っています。そ

の成果は、隔週発行の「熱帯木材市場レポート」

や隔年発行の「世界の木材に関する隔年評価報告」等により、情報提供しています。

② プロジェクト活動

ITTOは、消費国からの任意拠出により、生産国における持続可能な森林経営や木材貿易に関するプロジェクトの実施を支援しています。これまで、ITTOは、合計440億円以上の資金で1,000件以上のプロジェクトを支援してきました。プロジェクトのテーマとしては、例えば、地域コミュニティによる持続的な森林経営の実践、違法行為に対する監視体制の構築、アグロフォレストリーの導入、女性の参加拡大などが挙げられます。

3. 我が国のITTOに対する貢献

我が国は、ITTOの設立に当たり、世界最大（当時）の熱帯木材輸入国として、熱帯木材の安定供給と国際的な貢献のために、本部を横浜市に誘致しました。以後、ホスト国として、主に





コートジボワールでのプロジェクトにて。女性による苗木生産 (R.Carrillo氏 (ITTO) 撮影)



パナマにおけるプロジェクトにて。チップに記載されたバーコードに、それぞれの立木の直径、樹高、種等のデータを記録 (R.Carrillo氏 (ITTO) 撮影)

プロジェクトへの拠出を通じて、ITTOの運営に貢献しています。

我が国(林野庁、外務省)は、ITTOに対して、年間9千万円程度の拠出を行っています(令和2年度予算額は、林野庁:76百万円、外務省:15百万円)。

林野庁の拠出プロジェクトとしては、現在、インドネシアにおける住民参加型人工林開発、モザンビークにおける森林ガバナンスの改善、ホンジュラスにおける低利用樹種の持続可能な経営、グアテマラにおける木材トレーサビリティの向上、コンゴ盆地諸国における人材開発の5つが実施中です。

このほか、林野庁は、ITTOの事務局設置経費として、毎年22百万円を負担しています。

4. 第56回ITTO理事会

ITTOの活動は、毎年、全加盟国が参加する国際熱帯木材理事会(ITTC)で決定されます。昨年(2020年)11月には、初めてオンラインで開催されました。今回の理事会では、新たな資金調達戦略の採択、プロジェクトの進捗状況報告、任意拠出金の拠出表明などが行われました。

我が国からは、外務省の令和元年度補正予算を含む総額307万ドル(約3.2億円)の拠出を表明しました。この額は、今回の拠出表明額合計の74%に上ります。

林野庁からは、ミャンマーにおける合法木材の流通体制の構築、加工貿易国等(中国、ミャンマー、ベトナム)における木材の合法性確認システムの分析・評価の2つのプロジェクトに、計72万ドル(約76百万円)の拠出を表明しました。両プロジェクトは、2021年1月から開始されましたが、ミャンマーのプロジェクトは現在、現地情勢確認中です。

5. おわりに

近年、SDGsやESG経営への関心が高まる中、持続可能な熱帯林経営に貢献してきたITTOへの期待は高まっています。林野庁も、引き続き、ITTOへの支援を通じて、持続可能な森林経営の推進に貢献してまいります。

* ITTOの詳細は林野庁HPをご参照ください。(https://www.rinya.maff.go.jp/j/boutai/yunyuu/itto.html)

